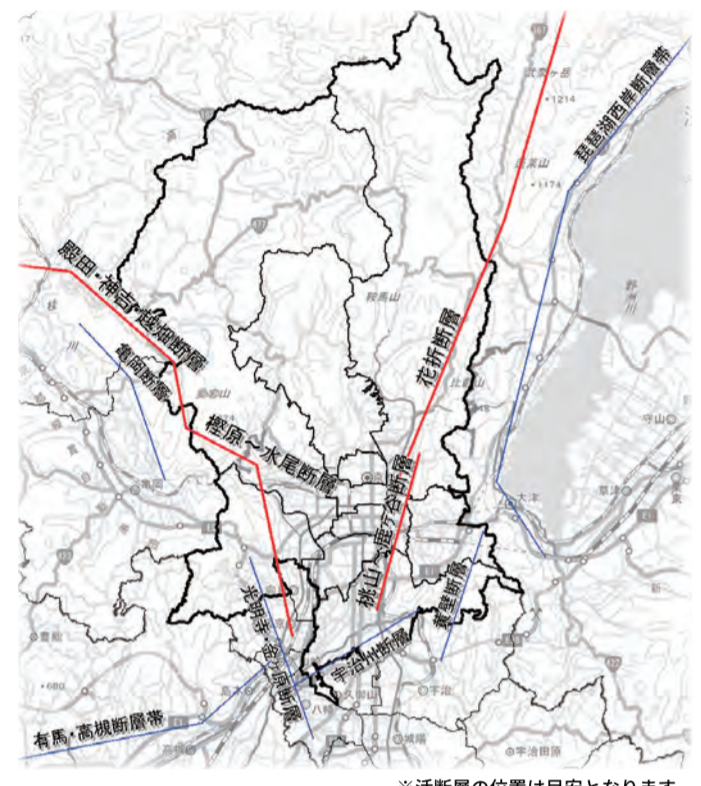


京都市に被害を及ぼす大きな地震

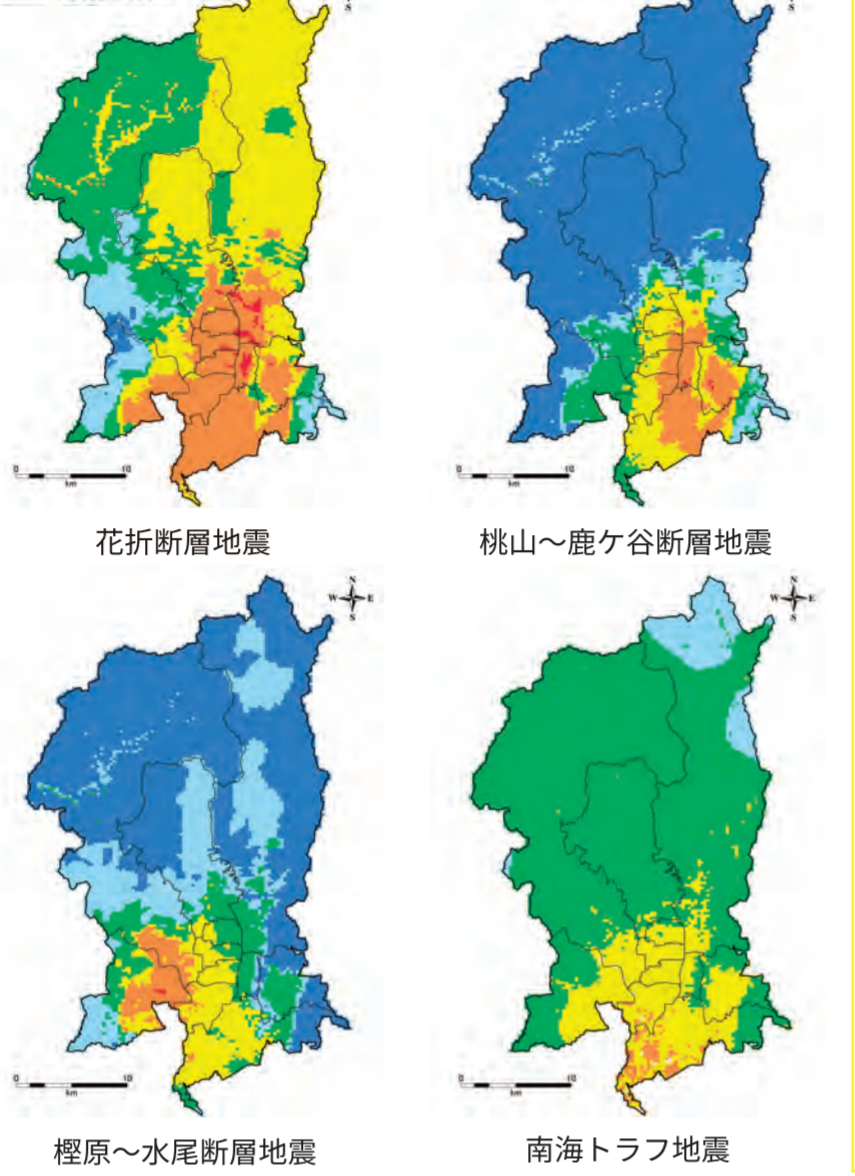
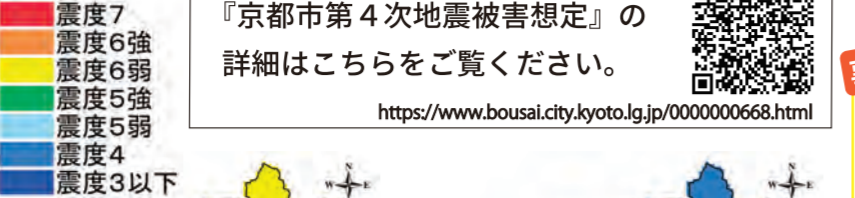
下の地図は、京都市周辺の活断層を示しています。『京都市第4次地震被害想定』では、京都市内で特に大きな被害が見込まれる4つの「内陸型地震（赤い線で示した活断層を震源とする地震）」と、今後30年以内に高い確率で発生するとされる「南海トラフ地震」を対象として、被害想定を行いました。

右京区では、地図面に記載のとおり「**殿田・神吉・越畑断層地震**」が、最も大きな被害をもたらすと想定されています。

右の地図は、それ以外の地震が発生した場合の京都市内の震度分布を示しています。



（震度分布図）



非常持出品

いざという時のために、日頃から最小限の非常持出品を用意し、両手が空リリュックサックなどに入れておきましょう。また、準備した非常持出品を地域の防災訓練の際に活用しましょう。

- 一次持出品（すぐに必要なもの）
●二次持出品（避難生活に必要なもの）
List of items including food, water, communication tools, first aid, and disaster supplies.

建物の耐震改修について

大地震による被害を最小限に抑え、あなたとあなたの家族の生命と財産を守るため、建物の耐震化を進めましょう。阪神・淡路大震災では、昭和56年以前に建てられた建物が、特に大きな被害を受けました。

- このような建物は、特に注意!!
1 昭和56年以前に建てられた建築物
2 平面形状のバランスが悪い建築物
3 断面形状のバランスが悪い建築物
4 建築物の管理や補修が不十分で経年変化が著しい建築物

家具の転倒／落下物の防止対策

阪神・淡路大震災などの大地震による負傷者のけがの原因を調べた結果、40～50%の方が家具の転倒や落下物によりけがをされています。地震によるけがを防止するため、各家庭において家具の転倒や落下物の防止対策を行うことがいへん重要です。

家具の転倒から身を守るポイント
●家具転倒防止器具などの設置例
Includes diagrams for L-shaped metal brackets, belts/chains, door stoppers, and glass breakage prevention.

もしもの災害に備えて

事前にご準備！ 我が家の防災行動計画 マイ・タイムライン
あらかじめ作成することで、災害に備えて自分自身が取るべき行動や、日頃からの備えを事前に確認できるスケジュール表です。



区役所、支所などで配布中
防災ポータルサイトでも作成可能！
Includes QR code and URL: https://www.bousai.city.kyoto.lg.jp/mytimeline/

地震が起きたら

大地震が起きても、あわてず冷静に行動することで、けがや火災から身を守ることができます。ふだんからどのような行動をとったらよいか考えておきましょう。

地震発生 安全の確保
Includes illustrations of people taking cover under a table, extinguishing a fire, and evacuating.

5～10分 情報の収集と避難

周囲の状況を見る
●地域の集合場所に集まって、被災状況を確認する。
●余震による建物等の倒壊に気をつける。
●まず高齢者や、身体の不自由な方、子どもの安否を確認する。

避難は徒歩で、荷物は最小限にする
●高齢者や、体の不自由な方、子どもを先に避難させる。
●車やオートバイは使わない。
●行き先メモを玄関付近の目立つ場所に残す。
●なるべく大きな道を選んで避難する。

狭い路地、塀まわ、がけ、川べりに近寄らない
●ブロック塀、門柱、自動販売機などは倒れやすいので、近寄らない。
Includes illustration of people walking away from hazards.

地震から身を守るために

～3分 家族の安全確認と初動措置
揺れが収まったら
●家族の安全を確認する。
●地震のときは、ドアや窓が変形して開かなくなることがある。
●ドアや窓を少し開けて、逃げ道を作っておく。特に、マンションや団地などは要注意。

出口を確保する
●大声を出して外部に知らせる。
●手元のものを持って、大きな音で外部に知らせる。
●笛を吹いて知らせる。
山崩れ、がけ崩れ、津波に注意する
●山間部や海沿いの地域で揺れを感じたら、すぐに避難する。

火が出たらまず消火
●「火事だ!」と大声で叫び、隣近所にも助けを求め、初期消火に努める。
●消火器・水バケツ
●火事だ!と大声で知らせる。
●消火器を使用する。
●バケツリレーで初期消火する。
隣近所の安全を確認する
●近辺に火災はないか、閉じ込められた人はいないかを確認する。

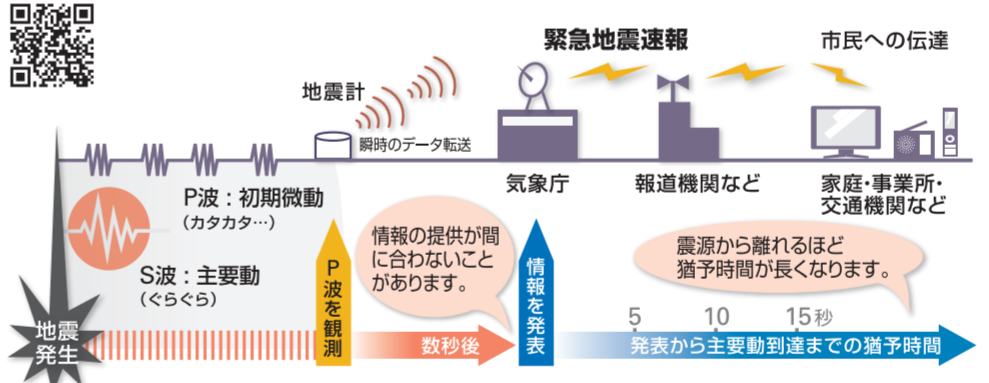
3～5分 避難準備と周辺の確認

避難の準備をする
●非常持出品を準備する。
●靴を履く。
●ヘルメット(防災ずきん)をかぶる。
外へ逃げるときは慌てずに
●外へ逃げるときは、ガラスやかわらの落下物に注意し、落ち着いて行動する。
●家を出るときに忘れずブレーカーを切るなど、火災防止に努める。
●ブロック塀や門柱から離れる。
火事を見つけたら
●大声で知らせる。
●消火器を使用する。
●バケツリレーで初期消火する。
隣近所の安全を確認する
●近辺に火災はないか、閉じ込められた人はいないかを確認する。

Table with 2 columns: 避難生活 (Evacuation Life) and 避難先 (Evacuation Site). Details include safety measures and facility information.

緊急地震速報について

緊急地震速報は、地震の発生直後に、震源に近い観測点で検知した初期微動(P波)を解析して、大きな揺れ(S波)が迫っていることを、可能な限り早く知らせる気象庁の情報です。緊急地震速報はテレビやラジオで速報されるほか、列車の制御などにも活用されています。ただし、震源に近い地域では、速報が強い揺れに間に合わないことがあります。



緊急地震速報を見聞きしたら、地震を感じたときと同様に「あわてず、まず身の安全を!」
●家庭では、頭を保護し、丈夫な机の下など安全な場所にまず避難する。揺れがおさまったら、あわてずに火を始末する。
●屋外では、ブロック塀に注意し、自動販売機やビルのそばに近づかない。
●自動車運転中は、ハザードランプを点灯し、急ブレーキを避け、緩やかに速度を落とす。
●鉄道バスでは、つり革、手すりにつかろう。

防災の知識を深める

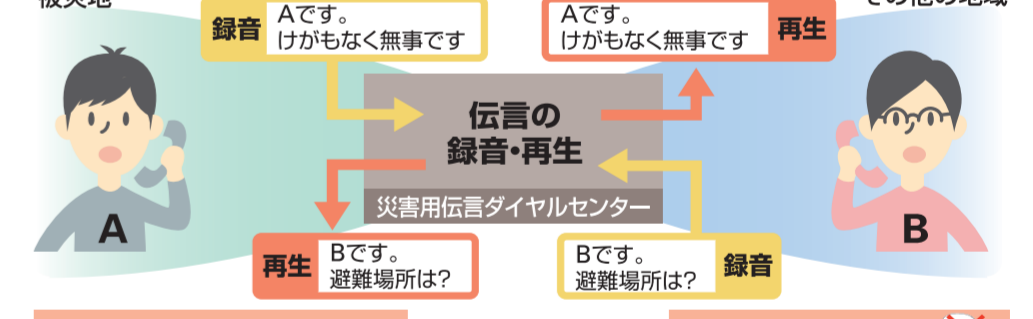
防災ポータルサイト

ハザードマップや学区の情報だけでなく、次の情報も閲覧できます。

- マイ・タイムライン
●備蓄のすすめ
●帰宅困難者対策
●指定避難所一覧
●災害に備えた保険の加入
●ペット防災
●市内の浸水履歴
●被災者への支援情報

いざという時の情報

安否確認の電話は 災害用伝言ダイヤルへ



災害用伝言ダイヤル171の使い方
録音する場合 171 + 1
再生する場合 171 + 2
インターネットを利用して安否確認を行える、「災害用伝言板(web171)」をご利用ください。(https://www.web171.jp/)

緊急通報先

Table listing emergency contact numbers for various services like fire, police, disaster relief, and medical services.